

横浜環境保全株式会社

クリーンな街・住みよい環境づくり





● 発表項目

● ビデオ上映（約5分）

1. 会社概要
2. 沿革
3. ハマのありが堆肥の製造工程
4. 第一堆肥施設概要
5. 第二堆肥施設概要



1. 会社概要

- ◆商号 横浜環境保全株式会社
- ◆本社所在地 〒231-0041 横浜市中区吉田町53番地 TEL 045-252-6680(代表) FAX 045-252-6609
- ◆金沢営業所 〒236-0002 横浜市金沢区鳥浜町2-17 TEL 045-776-0338(代表) FAX 045-773-8262
- ◆瀬谷営業所 〒246-0033 横浜市瀬谷区宮沢3-27-11 TEL 045-302-9200(代表) FAX 045-302-6035
- ◆川崎営業所 〒211-0041 川崎市中原区下小田中5-13-5-102 TEL 044-798-1563(代表) FAX 044-798-1564
- ◆資本金 1億3,250万円
- ◆設立 昭和47年2月
- ◆代表取締役 高橋 義和
- ◆従業員 取締役5名 営業員13名 事務員14名 運転手144名(管理職含む) 常駐作業員52名
- ◆営業種目
 1. 一般・産業・医療系・廃棄物収集運搬業
 2. 産業廃棄物収集運搬業
 3. 医療系・廃棄物収集運搬業
 4. 資源物収集運搬(リサイクル業)
 5. 産業廃棄物中間処理(破碎・溶融・圧縮)
 6. 一般廃棄物再生肥料の製造、販売
 7. リサイクル業(缶、ペットボトル)
 8. 貨物計量業務
 9. その他上記付帯する一切の業務



2. 沿革

横浜環境保全株式会社

- ◆昭和47年2月 資本金1,500万円で会社設立。
- ◆昭和47年3月 横浜市より一般廃棄物収集運搬業の許可を第一号で受ける。
- ◆昭和55年11月 資本金2,800万円に増資。
- ◆昭和63年11月 横浜市金沢区に産業廃棄物中間処理場を開設、自社での産業廃棄物処理業務を始める。
- ◆平成2年11月 横浜市瀬谷区に瀬谷営業所を設置、県央・静岡地区の業務拡充を図る。
- ◆平成3年3月 資本金5,000万円に増資。
- ◆平成4年9月 横浜市鶴見区駒岡に、グループ本社ビルが完成。
- ◆平成8年6月 中間処理業務拡大を図り、施設を新築し破碎機・溶融機を導入。
- ◆平成8年8月 グループ会社岩崎興業地所株式会社と企業統合し、資本金1億2,000万円とする。
本社を横浜市鶴見区駒岡(本社ビル)に移転、総務・経理業務を統括する。
横浜市中区吉田町53番地の元本社を、横浜営業本部に名所変更。
- ◆平成9年3月 資本金1億3,250万円に増資。
- ◆平成13年4月 横浜市金沢区鳥浜町に事務所を新設し、敷地内に一般廃棄物の堆肥工場を設置。
- ◆平成15年6月 横浜市金沢区鳥浜町に瓶、缶のリサイクルラインを新規増設。
- ◆平成16年12月 本社を鶴見から中区へ、営業本部を本社へ各種変更。
- ◆平成21年5月 一般廃棄物処理業務拡大を図り、横浜市金沢区鳥浜町に第二堆肥工場を新設。

グループ会社

- ◆商号 株式会社エコサポートティーズ
- ◆所在地 横浜市中区吉田町53番地
- ◆資本金 1,000万円
- ◆設立 平成17年1月
- ◆代表取締役 高橋 義和
- ◆従業員 12名
- ◆営業種目 廃棄物のコンサルタント及び管理業務



3. ハマのありが堆肥の製造行程

1. 排出された生ごみを

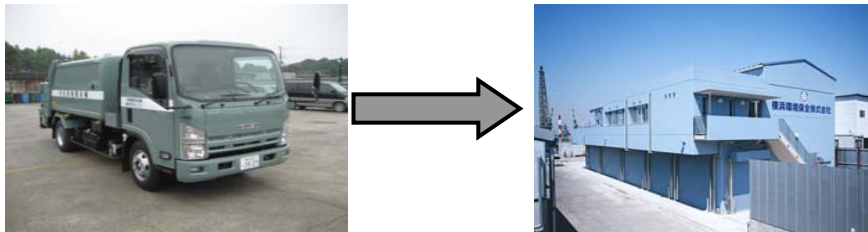
コンビニの売れなくなったお弁当や調理パン類
スーパーで売れない野菜のくず
ファミリーレストランや居酒屋の調理した時の残り物



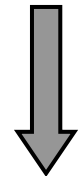
廃棄のお弁当やサンドウィッチ 野菜くず 調理ざんさ 食べ残し

2. 自社のルート車両で回収します

パッカー車と呼ばれるトラックでお店をまわります
回収が全て終わったら生ごみリサイクル工場へGO!



3. 堆肥にする方法は二通りあります。



完熟した堆肥を作るのに約2ヶ月間
年間約500トン以上販売しています

4. ハマのありが堆肥の出来上がりです!

ふるいをかけ不適切物を取り除き袋詰めすれば出来上がり



使用して頂いている農家様の地区
市内では主に都筑区・緑区
市外では藤沢・相模原・小田原市
県外では千葉県



4. 第一堆肥施設概要

外 観



概 要

- ・稼動開始 平成13年4月～
 - ・処理能力 一般廃棄物(生ごみ)3.92t/日
 - ・機械仕様 ロータリー式攪拌機
 - ・脱臭設備 微生物脱臭方式
 - ・搬入品目 生ごみ・動植物性残さ
 - ・処理日数 一次発酵日数は約24日間
二次発酵日数は約30日間
- ※ 搬入物や季節により誤差が生じます

内 観



生ごみと副資材のブレンド



一次発酵を行う発酵槽



二次発酵を行う養生槽



5. 第二堆肥施設概要

外 観



概 要

- ・稼動開始 平成21年6月～
 - ・処理能力 一般廃棄物・産業廃棄物 各 6.3t/日
 - ・機械仕様 クリーンコンポ×2基
 - ・脱臭設備 オガ屑脱臭方式
 - ・搬入品目 生ごみ・動植物性残さ
 - ・処理日数 一次発酵日数は約2週間
二次発酵日数は約3週間
- ※ 搬入物や季節により誤差が生じます

内 観



クリーンコンポの外観



生ごみをコンポに投入
(一次発酵)



コンポから排出された物
(養生槽で二次発酵)

A pair of hands is shown from a low angle, cupping a small, vibrant green seedling with several leaves and a small amount of dark soil. The background is a bright blue sky with scattered white clouds. The overall mood is one of care, growth, and environmental stewardship.

ご清聴ありがとうございました

横浜環境保全株式会社